

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月9日

事業所名 ウィズ・ユーmirai

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			児童に対するの担当を明確に決めて支援している。専門的な支援ができる職員の配置もしていきたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		スロープは設置しているが、2階建ての建物なので解消できない部分はある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○		今後は非常勤職員も含めて意見を取り入れていきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			今回が初めての事業所評価なので、今後に活かしたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			今回が初めての自己評価なので、結果はホームページに掲載する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		外部評価実施のための機関を確認する。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			必要な研修は実施できているが、内容についてはさらに掘り下げて考えていきたい。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			常勤中心になっているので、非常勤職員の意見も取り入れながら考えていきたい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			大まかな構成は決まっているが、その中で内容は変更していった。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			長期休暇については平日とプログラムを変えて対応している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している		○		個別での学習支援が中心となっているので、学習後に集団で楽しめる活動を検討する。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			非常勤職員の出勤時間がバラバラなので、常勤職員中心となっている。全体向けには一日の流れを画面で確認できるようにしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○		業務終了後の報告については退勤時間がバラバラなため、情報共有の仕方を検討する。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			半年に1回、定期的にモニタリングを実施している。状況に応じて計画に見直しを行っていく。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○			定期的にガイドラインの読み合わせを行い、活動に活かすように心がけている。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		施設管理者が中心となって参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校によって情報共有の仕方は様々で、紙媒体で予定の入手が難しい場合は必要に応じてホームページで行事予定等、確認している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	現状、受け入れを行っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	今後、高校を卒業し就労関係の事業所に入る児童もいるので、情報共有に努めていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		必要に応じて情報共有をし連携をとっている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		地域交流の場を作り始めたが参加規模が小さいので、地域に周知して参加していただけるように考えていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		定期的に開催されている協議会に参加している。施設の活動を発表する機会もいただき、他事業所に紹介することができた。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	外部講師の力を借りながら、機会を作っていく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		必要に応じ行うようにしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		コロナで開催できずだったが、今年度は保護者会を実施することができた。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		
	35	個人情報に十分注意している	○		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		キッチンカーを招いて地域交流の場を作ることができた。引き続き地域の方を招く機会を定期的に持つ。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			マニュアルは設置しているがご家庭向けの周知が弱いので、紙媒体での配布を検討する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			参加できる人数が限られているので、機会を増やす等の方法を検討する。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			機会は設けているが、内容については掘り下げて研修を行う。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和6年3月9日

事業所名 ウィズ・ユーマイ

保護者等数(児童数)37名(40名) 回収数 26 割合 70.2%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	25			1		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	20	2		4		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	19	5		2		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	25			1		
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	17	4		5		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	9	3	11		
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19	3	1	3		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	21	3	1	1		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20	4		2		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	13	6	2	5		
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	19	2		5		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	23	3				
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	19	1		6		
	14 個人情報に十分注意しているか	21	2		3		
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	14	4	2	6		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	5		14	子どもの訓練はしているのですか？	
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	19	5		2	miraiの人ともっと出かけたりしたい。	
	18 事業所の支援に満足しているか	24	1		1		

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。